

2023年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年5月11日

上場会社名 株式会社カヤック 上場取引所 東
 コード番号 3904 URL <http://www.kayac.com/>
 代表者(役職名) 代表取締役CEO (氏名) 柳澤 大輔
 問合せ先責任者(役職名) 執行役員 管理本部長(氏名) 柴田 史郎 (TEL) 0467-61-3399
 四半期報告書提出予定日 2023年5月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (個人投資家向け、証券アナリスト・機関投資家向け)
 (百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第1四半期の連結業績(2023年1月1日~2023年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第1四半期	4,219	3.8	380	7.4	416	5.6	264	2.9
2022年12月期第1四半期	4,063	44.1	354	0.8	394	△0.3	257	△16.3

(注) 包括利益 2023年12月期第1四半期 267百万円(1.8%) 2022年12月期第1四半期 262百万円(△28.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第1四半期	16.59	16.48
2022年12月期第1四半期	16.87	16.75

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第1四半期	10,915	5,850	48.6
2022年12月期	10,966	5,339	44.0

(参考) 自己資本 2023年12月期第1四半期 5,312百万円 2022年12月期 4,824百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	0.00	—	3.90	3.90
2023年12月期	—	—	—	—	—
2023年12月期(予想)	—	0.00	—	3.90	3.90

3. 2023年12月期の連結業績予想(2023年1月1日~2023年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,200	10.3	1,350	11.4	1,350	10.7	850	8.5	54.6

(注) 1. 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2. 第2四半期(累計)の業績予想は行っておりません。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年12月期1Q	15,957,400株	2022年12月期	15,953,800株
② 期末自己株式数	2023年12月期1Q	187株	2022年12月期	187株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年12月期1Q	15,955,933株	2022年12月期1Q	15,247,998株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における予測値及び将来の見通しに関する記述・言明は、当社が現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づいております。その判断や仮定に内在する不確実性及び事業運営の内外の状況変化により、実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なる可能性があり、当社は将来予測のいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における日本経済は、一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復の兆しが見られ、個人消費や雇用情勢も緩やかな持ち直しの動きが続いています。内閣府は2023年4月の月例経済報告において、景気の先行きについては、ウィズコロナの下で、各種政策の効果もあり、持ち直しの動きが続くことが期待されるが、世界的に金融引き締めが進む中での海外景気の下振れが国内の景気を下押しするリスクとなっていること、また物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要があると指摘しております。

当社グループを取り巻く事業環境としましては、2021年のスマートフォン保有率が前年比1.8%ポイント上昇の88.6%となり、モバイルでのインターネット環境は引き続き発展を続けております(出所：総務省「令和4年版情報通信白書」)。当社が注力するインターネット広告市場についても、2021年の市場規模は前年比21.4%増の2兆7,052億円となり、継続して高い成長力を保っております(出所：電通「2021 日本の広告費」)。また、一般社団法人日本eスポーツ連合によれば、国内eスポーツ市場規模は2021年に前年比15.1%増の78.4億円となり、2022年は116.1億円、2023年は129.4億円と高い成長率で拡大する見込みです。

このような事業環境の中で、当社グループはより多くのユーザーに楽しんでもらえるよう良質なデジタルコンテンツを提供し続けております。その中でも、面白プロデュース、ゲームエンタメ、eスポーツ、ちいき資本主義の4つを主要サービスと位置づけ、相互にシナジーを図りながら事業を進めてまいりました。また、その他サービスとして、SNSブライダルプラットフォームなどの新規サービスの開発及び投資を行っております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、4,219,100千円(前年同期比3.8%増)、営業利益は380,662千円(前年同期比7.4%増)、経常利益は416,963千円(前年同期比5.6%増)、親会社株主に帰属する純利益は264,820千円(前年同期比2.9%増)となりました。当社グループの事業セグメントは単一セグメントではありますが、サービス別の売上高の概況は次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より、サービス別の売上区分を変更しており、当第1四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。

① 面白プロデュース

新しい技術とアイデアに挑戦し、クライアントとその先にいるユーザーに新しい体験を提供することで、クライアントのマーケティング及びブランディングに資する広告を提供しております。スマートフォンの普及や新しい技術の出現を背景に、WEB領域にとどまらないリアルと連動した案件が増加傾向にあります。また、当社の企画力、技術力をもとにクライアントの新製品開発を支援する領域にも進出しております。この結果、面白プロデュース関連の売上高は、437,686千円(前年同期比13.0%減)となりました。

② ゲームエンタメ

「ぼくらの甲子園!ポケット」、「キン肉マンマッスルショット」、ハイパーカジュアルゲーム、(株)カヤックアキバスタジオでの受託ゲーム開発が売上高の大部分を占めています。ハイパーカジュアルゲームにつきましては、当第1四半期会計期間に新作タイトル「Protect It」「Eating Simulator」の2本を正式にリリースしました。新作タイトルを2本リリースしたことに加え、モバイルゲームのダウンロード数の成長速度が回復基調の兆しをみせたことにより、ダウンロード数は直前四半期比3.1%増の約8,610万件となりました。また、当第1四半期会計期間よりメタバース専門部隊をその他サービスよりゲームエンタメサービスに変更しております。この結果、ゲームエンタメ関連の売上高は2,596,851千円(前年同期比7.1%増)となりました。

③ eスポーツ

ゲームファンに向けた一連のコミュニティサービスを展開しています。ウェルプレイド・ライゼスト(株)のeスポーツ事業ならびにトーナメントプラットフォームの「Toname1」が売上高の大部分を占めております。ウェルプレイド・ライゼスト(株)では、前第4半期連結会計期間に計上したeスポーツ大会等の大型受託案件の影響により、当第1四半期連結会計期間の売上が直前四半期比で減少しておりますが、下期偏重の事業のため想定内の進捗となっております。一方で、コミュニティに寄り添った運営により、当第1四半期連結会計期間におけるToname1の大会開催数は直前四半期比12.9%増の4,918件となりました。この結果、eスポーツ関連の売上高は、476,373千円(前年同期比6.1%増)となりました。

④ ちいき資本主義

地方公共団体や地域企業に対して、まちづくりに関するコンテンツの開発とサービスの提供を行っております。移住プラットフォームサービスの「SMOUT」、コミュニティ通貨サービスの「まちのコイン」、地域プロモーションの受託、鎌倉市内で展開するまちづくり事業などのサービスが売上高の大部分を占めております。当第1四半期連結会計期間末

時点で、「SMOUT」の累計登録ユーザー数は前連結会計年度末比5.3%増の4.87万人となり、順調に拡大しております。「SMOUT」の導入地域数も当第1四半期連結会計期間末時点で前連結会計年度末比2.6%増の893地域となり、市場の上限である自治体数約1,700地域に対する導入率が52%となりました。また当第1四半期連結会計期間末時点での「まちのコイン」の累計登録ユーザー数は、前連結会計年度末比12.9%増の6.6万人と、こちらも順調に増加しております。この結果、ちいき資本主義関連の売上高は、251,071千円（前年同期比59.9%増）となりました。

⑤ その他サービス

ブライダルプラットフォーム「プラコレWedding」は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、2020年上半年に業績が悪化した後、緩やかな回復基調にあります。この結果、その他サービス関連の売上高は、457,116千円（前年同期比14.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ51,319千円減少し、10,915,113千円となりました。主な要因は、ウェルブレイド・ライゼスト㈱の株式売却と税金等調整前四半期純利益計上による現金の増加465,321千円と、受取手形、売掛金及び契約資産の減少472,774円であります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ562,347千円減少し、5,064,405千円となりました。主な要因は、未払金の減少505,711円であります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ511,028千円増加し、5,850,707千円となりました。主な要因は、ウェルブレイド・ライゼスト㈱の株式売却による資本剰余金の増加284,296千円と、親会社株主に帰属する四半期純利益264,820千円の計上等による利益剰余金の増加であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績見通しにつきましては、2023年2月13日公表の「2022年12月期決算短信〔日本基準〕(連結)」に記載の予想を変更していません。

今後、当社グループの業績に影響を与える事象が発生した場合には速やかに開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,132,068	4,597,389
受取手形、売掛金及び契約資産	3,037,435	2,564,661
仕掛品	101,934	78,466
その他	358,842	280,526
貸倒引当金	△5,851	△5,866
流動資産合計	7,624,428	7,515,176
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	885,640	874,270
土地	629,342	629,342
その他(純額)	98,407	115,516
有形固定資産合計	1,613,390	1,619,129
無形固定資産		
のれん	888,403	849,220
その他	263,139	249,664
無形固定資産合計	1,151,543	1,098,885
投資その他の資産		
投資有価証券	308,271	390,310
繰延税金資産	159,974	160,191
その他	205,590	228,186
貸倒引当金	△96,766	△96,766
投資その他の資産合計	577,069	681,922
固定資産合計	3,342,003	3,399,936
資産合計	10,966,432	10,915,113
負債の部		
流動負債		
買掛金	602,998	649,686
短期借入金	300,000	300,000
1年内返済予定の長期借入金	720,815	612,478
未払金	1,289,249	783,539
未払費用	283,861	282,610
未払法人税等	370,630	328,875
契約負債	146,622	134,694
受注損失引当金	13,632	—
その他	556,225	749,142
流動負債合計	4,284,036	3,841,027
固定負債		
長期借入金	1,317,413	1,199,641
その他	25,303	23,736
固定負債合計	1,342,716	1,223,378
負債合計	5,626,753	5,064,405

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	873,501	874,122
資本剰余金	1,005,541	1,290,459
利益剰余金	2,939,798	3,142,400
自己株式	△229	△229
株主資本合計	4,818,612	5,306,753
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,378	5,654
その他の包括利益累計額合計	6,378	5,654
新株予約権	43,103	45,087
非支配株主持分	471,584	493,213
純資産合計	5,339,679	5,850,707
負債純資産合計	10,966,432	10,915,113

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2022年1月1日 至2022年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2023年1月1日 至2023年3月31日)
売上高	4,063,899	4,219,100
売上原価	2,123,210	2,026,604
売上総利益	1,940,688	2,192,495
販売費及び一般管理費	1,586,318	1,811,832
営業利益	354,370	380,662
営業外収益		
受取利息	65	210
受取配当金	225	325
助成金収入	6,378	1,347
保険解約返戻金	4,242	—
為替差益	26,586	43,970
その他	5,018	959
営業外収益合計	42,515	46,813
営業外費用		
支払利息	1,874	1,973
持分法による投資損失	—	6,727
その他	170	1,811
営業外費用合計	2,044	10,512
経常利益	394,840	416,963
税金等調整前四半期純利益	394,840	416,963
法人税、住民税及び事業税	115,180	150,861
法人税等調整額	21,519	△1,270
法人税等合計	136,699	149,591
四半期純利益	258,141	267,372
非支配株主に帰属する四半期純利益	843	2,551
親会社株主に帰属する四半期純利益	257,297	264,820

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)
四半期純利益	258,141	267,372
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,304	△164
その他の包括利益合計	4,304	△164
四半期包括利益	262,445	267,207
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	261,873	264,096
非支配株主に係る四半期包括利益	572	3,110

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、第1四半期連結会計期間において、連結子会社であるウェルブレイド・ライゼスト㈱の株式の一部を売却いたしました。

この結果、当第1四半期連結会計期間において資本剰余金が284,296千円増加し、当第1四半期連結会計期間末において資本剰余金が1,290,459千円となっております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。